

食べるということ

志布志市立松山中学校 二年 橋口 味空

今日の夕食はタコライスだ。タコスは、  
 メキシコの料理であり、日本人の誰かがお米  
 の上にタコスの具を載せてみたら、おいしか  
 ったのだらう。だから、タコライス。元々  
 外国生まれの料理を日本でも食べられること  
 は素晴らしいことだと思う。

夕食作りを担当は、父だ。たり母だ。たり  
 する。食堂を運営している父の作る唐揚げは

中学校

最高においしい。父の作る唐揚げは、  
 いかにも納得する。

タコライスを一口食べてみる。少しピリッ  
 としたひき肉とチーズのハイモニーは、私を  
 幸せな気分にした。シヤキシヤキのタス  
 とすっぱいトマトは、明日も頑張ろう。と  
 いう気持ちにさせた。

食が進める中、テレビはパレスチナがサ  
 地区の人々に関するニュースを伝え始めた。  
 人口の半数が飢餓の危機にあるというのだ。

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

( 月 日 曜日 )

パラシユートにつるされた食料に、人々がア  
 リのまうに群がっているか、全く足りる量で  
 はないらしい。鍋を持ってた女性は、  
 「食べ物全く手に入れないことかできない。  
 とテレビカメラの前で、涙を流しながらさけ  
 んでいた。

私が食べることを楽しみ、幸せな気持ちに  
 なっているとき、食料を手に入れない  
 人々がいる。いつの間にか、スーパーが止ま  
 り、ニュースに見入っていた。

中学校

私にできることはどういことだ。  
 本の「食品ロス」について調べてみる。する  
 と、国内で年間約四七三万トンもの食品が捨  
 てられていいることか分かった。また、事業係  
 ではスーパーの売れ残った商品、飲食店の余  
 り物、家庭系では食べ残し、余った食材が主  
 に捨てられていいることも分かった。  
 四七三万トン、かなり大きい数字だとい  
 うことは分かるか、イメージしづらかった  
 志布志港に寄港する「さんぷらゆあ」の重さ

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかなぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。は、それぞれ一字にかなぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

を調べてみた。すると、約一万三千トであり、その巨大な「さんぷらわあ」三六三せき分の食品が年間に捨てられていることになる。ところが分かった。まずまずもったいないことだと実感できました。かが地区の飢えていている人々が、この現実を聞いたら、どう感じるだろう。私は、食べるということは、食べ物から命をいただいているといふことだと思ふ。また、生産する人、生産したものを運ぶ人、売る人といふたまたまうた、多くの人が関わって食べ物を買うことができず。父は、ご飯の前に言う。自分だけの食べる量だけあげよう。それ以上のことは言わないのだ。隠された言葉は、もったいないのだ。つまり、残すことも、たいていから、自分の食べる量だけあげよう。と言いたくはない。でも、苦勞をした人の分も含めてお金を払って、食べ物はどうしようか勝手です。

中学校

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にぞえて、マスのなかに右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはおきない、むだなことはけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

( ) 月 日 曜日

う。と言おう人もいるかもしれない。だが、お金を払ったからと言った、食べ物に粗末にして良いわけではない。食べ物に対して感謝の気持ちもちもち続けるべきだ。私たち人間は、食べさせてもらっていることを忘れてはいけな。今年、米の値段の高いことがニュースになっている。食べ物に注目が集まっている今こそ、食べるというこの意味を改めて考える入を増やすチャンスだと思う。なので、ニュース

中学校

イスで、米の値段がただ高いということだけではなく、食べ物のあるべきにたいしても伝えるべきだと思う。

一日記に夕食のことを書くことが多いね。と担任の先生に言われた。それほど夕食が印象に残っているのだらう。私と同じように、世界中の人々が食べ物に困らず、笑顔でテーブルを囲める日が来れば良いと思う。そして、日本でも食べ物大切にすることが増え、食品を捨てる量が減っていくことを願っている。

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかなぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たらないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。

(不許複製)

